カリキュラム

機構施設名：　大分職業能力開発促進センター
実施機関名：　一般社団法人中部産業連盟

B. 組織マネジメント	事故をなくす安全衛生活動
リスクマネジメント	

コースのねらい	職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得する。

講義内容

	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間（H）
	1	安全衛生概論	1） 安全衛生とは （1） 安全とは （2） 衛生とは （3） 安全衛生とは （4） モノづくり企業における安全衛生活動の位置付け　～モノづくりメカニズム～ 2） 安全と不安全 （1） 不安全事故事例から安全を考える　～災害発生メカニズム～ 3）衛生と不衛生 （1） 不衛生事故事例から安全を考える　～職業性疾病発生メカニズム～ 4）関係法令 （1） 労働基準法 （2） 労働安全衛生法 （3） 業界法例　　など 5）安全衛生活動の心構え （1） ヒト／モノ／カネ／情報の安全 （2） ヒトの衛生 6）【演習】 理解度確認チェック （1） 一般企業の安全衛生活動紹介 （2） 不安全／不衛生状態「○×」チェック	2.0
	2	企業における安全衛生活動	1）安全衛生活動の技術と事例紹介 （1）ヒューマンエラー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 錯視／盲点／スキーマ （2）ヒヤリハット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ハインリッヒ法則（1：29；300） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ KYT危険予知訓練 （3）フールプルーフ／フェイルセーフ ・・・・・ （スイス・チーズ・モデル） （4）安全衛生パトロール （5）リスクアセスメント 2）【演習】 理解度確認チェック （1） エラー事例の区分チェック （2） フールプルーフ／フェイルセーフ事例の区分チェック	2.0
	3	点検による管理	1） ポカミス発見訓練 □ ポカミス発見訓練 （誤認識、不注意、不慣れ、軽視、省略、単調な作業、過負荷、疲労、連携ミス、作業環境） 2）【演習】 厚生労働省、業界などの安全衛生事例の確認 □ 安全／衛生チェックリストの確認 □ 職場のリスクアセスメントの確認	2.0
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

モノづくり企業にとっての「安全衛生管理」は、企業経営にとっての必須の管理項目として、国や業界などの法律や関係法令で規制されるなどされています。

当該研修では、モノづくり企業従事者としての安全衛生に関わる『基本的内容』を学習していただきます。

カリキュラム構成では、安全と衛生を定義し、不安全や不衛生という逆転視点での考察も加えます。

および、ヒューマンエラーについての 『人間の限界』 も理解しながら、安全衛生との向き合い方を学習して頂きます。

また、企業で取り組まれている具体的手法技法を紹介し、自社・自職場への活用可能性を考察して頂きます。

事例演習では、講師が事前準備する事例を活用する前提ですが、厚生労働省などの公的機関からの情報も活用しながら、および、

業界・業種別特有の運用ポイントにも示唆し、グループ考察に繋げます。

訓練に使用する機器等

●機器・ソフトウェア（受講者用）	●機器・ソフトウェア（講師用・その他）
・筆記具等	・PC（講師用） ・OS：Windows11 ・アプリケーション：Microsoft Office 365 (PowerPoint、Excel)
●使用するテキスト	●その他
・オリジナルテキストを使用 ・演習用事例は、講師が別冊テキストとして準備。（実施機関から配布）	・オリジナルの問題演習を通し、講義訓練内容の定着を図る。 ・演習用備品として、模造紙、サインペンセット、付箋。（実施機関が準備）

利用事業主に用意を求める機器等	備考
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード	